

令和 2 年 度

アドミッション・オフィス(AO)入試 学生募集要項

出願受付期間	令和元年10月 1 日(火)～令和元年10月 7 日(月)
試 験 期 日	【第 1 次選考】(教育学部共通選考、専修別選考) 令和元年10月26日(土)及び10月27日(日) 【第 2 次選考】(大学入試センター試験) 令和 2 年 1 月18日(土)及び 1 月19日(日)
合格者発表日	【第 1 次選考】 令和元年11月28日(木) 【第 2 次選考】 令和 2 年 2 月10日(月)

奈良 教 育 大 学

目 次

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II. 募集人員等	2
III. 出願要件	3
IV. 出願資格	3
V. 出願手続	
1. 出願書類等	3
2. 出願方法	4
3. 出願上の留意事項	4
4. 受験票の送付	5
5. 選抜方法	5
6. 可否判定の基準	6
7. 配点及び合格基準点	6
8. 試験期日と時間	7
9. 試験場	7
10. 受験上の留意事項	7
11. 合格者の発表	8
12. 入学手続等	8
13. 不合格となった場合の個別学力検査等の受験を希望する者の取扱い	9
別表 1 理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等	10
別表 2 （1）留意事項	12
別表 2 （2）大学入試センター試験 受験科目指定一覧	13
VI. 障害を有する入学志願者との事前相談	16
VII. 留意事項等	16
VIII. 出願書類記入上の注意	17
IX. コード表	21

（添付資料）

1. 入学志願票
2. 受験票・写真票・検定料納付確認票・大学入試センター試験成績請求票貼付票
3. 志望理由書

4. 活動報告書
5. 入学確約書
6. スポーツ・運動歴調書の作成についての依頼
7. スポーツ・運動歴調書（保健体育専修のみ）
8. 出願用封筒
9. 大学入試センター試験成績請求票貼付票・入学志願者カード提出用封筒
10. 検定料払込用紙

I. 入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

1. 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
2. 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
3. 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
4. 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
5. 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

アドミSSION・オフィス入試では、第1次選考において、教育学部共通選考および専修別選考等の結果を総合して評価し、第2次選考においては、大学入試センター試験の成績に基づき評価します。

Ⅱ. 募集人員等

本学教育学部学校教育教員養成課程では、入学定員の一部について、次のとおり「アドミッション・オフィス（AO）入試」を実施します。

募集する専修・履修分野

選抜	専攻	専修・履修分野		募集人員
アドミッション・ オフィス（AO）入試	教育発達専攻	教育学専修		3 名
		心理学専修		3 名
		幼年教育専修		2 名
		特別支援教育専修		2 名
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	2 名
			中等教育履修分野	2 名
		社会科教育専修	初等教育履修分野	2 名
			中等教育履修分野	2 名
		数学教育専修	初等教育履修分野	2 名
			中等教育履修分野	2 名
		理科教育専修	初等教育履修分野	2 名
			中等教育履修分野	2 名
		音楽教育専修	初等教育履修分野	2 名
		美術教育専修	初等教育履修分野	2 名
		保健体育専修	初等教育履修分野	2 名
			中等教育履修分野	2 名
		家庭科教育専修	初等教育履修分野	1 名
		技術教育専修	中等教育履修分野	1 名
		英語教育専修	中等教育履修分野	2 名
	伝統文化教育専攻	書道教育専修		1 名
文化遺産教育専修		1 名		
合 計				4 0 名

出願期間 令和元年10月1日（火）～令和元年10月7日（月）
 試験日程 （1）第1次選考（教育学部共通選考、専修別選考）
 令和元年10月26日（土）及び10月27日（日）
 （2）第2次選考（大学入試センター試験）
 令和2年1月18日（土）及び1月19日（日）
 合格発表日 （1）第1次選考 令和元年11月28日（木）
 （2）第2次選考 令和2年 2月10日（月）
 入学手続日 令和2年2月19日（水）

Ⅲ. 出願要件

将来、奈良県下の学校教員になることを希望する者

Ⅳ. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和２年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験する者。

(１) 高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者及び令和２年３月卒業見込みの者

(２) 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）及び令和２年３月修了見込みの者（※）

※高等専門学校の第３年次を修了した者。

(３) 学校教育法施行規則第１５０条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者及び令和２年３月末までにこれに該当する見込みの者

ア. 外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ. 文部科学大臣の指定した者（昭和２３年文部省告示第４７号）

オ. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和２年４月１日までに１８歳に達する者

Ⅴ. 出願手続

１. 出願書類等

＜令和元年１０月７日（月）（消印有効）までに提出するもの＞

書 類 等		提出該当者	様 式	摘 要
1	入 学 志 願 票	全 員	本学所定	17ページの「Ⅷ. 出願書類記入上の注意」をよく読んで所要事項をもれなく記入してください。
2	受 験 票・写 真 票	全 員	本学所定	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 353円分の郵便切手 を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
3	調 査 書	全 員	文部科学省所定	出身学校長が作成し、 厳封 してください。

4	志 望 理 由 書	全 員	本学所定	所要事項をもれなく記入してください。
5	活 動 報 告 書	全 員	本学所定	出身学校長が作成し、 <u>厳封</u> してください。
6	スポーツ・運動歴調書	保健体育専修 志 願 者	本学所定	出身学校長が作成し、 <u>記載した成績・記録を証明する資料を添付したうえで、厳封</u> してください。
7	入 学 確 約 書	全 員	本学所定	所要事項をもれなく記入してください。
8	宛 名 票	全 員	本学所定	<u>合格通知書を受け取る場所</u> の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
9	検 定 料 (17,000 円)	全 員		郵便局・ゆうちょ銀行で納付し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」を検定料納付確認票に貼付してください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。

＜令和元年12月12日（木）（必着）までに提出するもの＞ ※第1次選考合格者のみ

書 類 等		提出該当者	様 式	摘 要
10	大学入試センター 試験成績請求票	第1次選考 合 格 者	本学所定	「令和2年度大学入試センター試験成績請求票(国公立AO入試用)」を指定箇所に貼付し、 <u>令和元年12月12日（木）（必着）まで</u> に入学志願者カードとともに指定の封筒により提出してください。
11	入学志願者カード	第1次選考 合 格 者	本学所定	19～20ページの志願者カード記入上の注意をよく読んで正確に記入し、 <u>令和元年12月12日（木）（必着）まで</u> に大学入試センター試験成績請求票とともに指定の封筒により提出してください。

(注)10及び11については大学入試センターからの到着日の関係等で期日までの提出が難しい場合は、入試課まで連絡してください。

2. 出願方法等

志願者は、出願書類等を取り揃え、下記の出願期間内に、この要項に添付した出願用封筒を用いて「書留速達便」により送付してください（郵送に限る）。

① 出願期間

令和元年10月1日（火）から令和元年10月7日（月）まで（郵送に限る）

（令和元年10月7日（月）消印有効とします。）

② 送付先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

※第1次選考合格者については、大学入試センター試験成績請求票及び入学志願者カードを、令和元年12月12日（木）（必着）までに、この要項に添付した提出用封筒を用いて「書留速達便」により上記②の送付先に送付してください（郵送に限る）。

3. 出願上の留意事項

① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に、受信地及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。

② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。

- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
 - ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
 - ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ. 大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合(手数料 4,000 円を除いた額を返還します。)
- なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。
- ⑥ 出願書類の記入方法は、17 ページ「Ⅷ. 出願書類記入上の注意」を参照してください。

4. 受験票の送付

- (1) 受験票は、出願期間終了後、本人宛に送付します。
なお、受験票が、令和元年10月15日(火)までに到着しない場合は、本学入試課へお問い合わせください。
- (2) 試験当日及び入学手続の際に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

5. 選抜方法

- (1) 第1次選考
 - ア. 教育学部共通選考
 - i. 志望理由書等に基づき、「学校教員になりたい理由」、「本学への志望理由」、「奈良県下の学校教員になって取り組みたいこと」を集団面接の形式で確認した後、学校教育にかかるテーマ等を示した上で、集団討論を課します。
 - ii. A、B、C の3段階評価とします。
 - イ. 専修別選考
 - i. 専修ごとに理解力・表現力試験等を課します。(詳細については別表1(10ページ)参照)
 - ii. 配点は450点とします。
 - iii. 加点対象となる公的な資格等及び持ち物については、別表1のとおりとします。
 - ウ. 共通加点枠
 - i. 配点は30点とします。
 - ii. 加点項目は下記のとおりとします。
 - ①中学校卒業後、教育又は人間形成に貢献するボランティアに合計30時間以上従事した場合(高等学校、ボランティア団体等がその旨を証明できる場合に限る)
 - ②各地方自治体教育委員会が実施する教員養成にかかるプログラムを合計30時間以上受講し、修了した場合
 - ③教育学部共通選考でA評価を得た場合
 - iii. ①又は②に該当する場合の加点は20点(ただし、①及び②の両方に該当する場合の加点は20点を超えないものとする)とし、③に該当する場合の加点は10点とします。
- (2) 第2次選考
 - 第1次選考合格者に、資格試験として大学入試センター試験を課します。
(詳細については別表2(12ページ)参照)

6. 合否判定の基準

(1) 第1次選考

ア. 専修ごとに、専修別選考（配点 450 点）の得点に共通加点枠（配点 30 点）の得点を加えた総点の上位者から順番に、第1次選考合格者を決定します。なお、第1次選考合格者は募集人員を超えないものとします。

イ. ア. のうち、専修別選考の得点率が 6 割未満（270 点未満）の場合、第1次選考不合格とします。

ウ. ア. の得点にかかわらず教育学部共通選考の評価が C の場合、第1次選考不合格とします。

(2) 第2次選考

ア. 大学入試センター試験において各専修が指定する科目の合計点が 5 割 5 分以上の場合、第2次選考合格とします。

イ. 各専修が指定する科目を受験していなかった場合は不合格とします。

※第2次選考合格者が募集人員に満たない場合、前期日程の合格発表数にその員数を追加します。

7. 配点及び合格基準点

(1) 第1次選考

全専攻・専修共通	配点			合格基準点		
	教育学部 共通選考	専修別 選考	共通 加点枠	教育学部 共通選考	専修別 選考	共通 加点枠
	A、B、C の 3 段階評価	450 点	30 点	B 以上	6 割(270 点) 以上	

(2) 第2次選考

専攻・専修名	配点	合格基準点
教育発達専攻 教育学専修 心理学専修 幼年教育専修 特別支援教育専修 教科教育専攻 国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 美術教育専修 英語教育専修 伝統文化教育専攻 文化遺産教育専修	科目合計 600 点	各専修が指定する科目の合計点の 5 割 5 分（330 点）以上
教科教育専攻 音楽教育専修 保健体育専修 家庭科教育専修 技術教育専修 伝統文化教育専攻 書道教育専修	科目合計 500 点	各専修が指定する科目の合計点の 5 割 5 分（275 点）以上

8. 試験期日と時間

(1) 第1次選考

ア. 教育学部共通選考

令和元年10月26日(土)

区分	時間	実施場所
集 合	8時30分	大講義室
集団面接	9時00分～	講義1号棟・講義2号棟
休 憩		
集団討論	13時00分～	講義1号棟・講義2号棟

※各自、昼食を持参してください。

イ. 専修別選考

令和元年10月27日(日)

※集合時刻は、受験票送付時にお知らせします。

※理解力・表現力試験等の実施場所は、試験当日、大講義室に掲示します。試験室へは、係員が案内します。なお、受験者数及び試験の内容等によっては、試験が午後に及ぶ場合がありますので、念のため昼食を持参してください。

(2) 第2次選考(大学入試センター試験)

令和2年1月18日(土)及び1月19日(日)

9. 試験場

奈良教育大学 (奈良市高畑町)

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車「^{たかばたけちょう}高畑町(奈良教育大学)」下車 (裏表紙参照)

10. 受験上の留意事項

- (1) 試験当日は、「奈良教育大学(AO入試)受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合又は紛失した場合は、ただちに、試験場本部へ申し出てください。
- (2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。また、大学周辺には乗降のために停車できる場所がありませんので、自動車による送迎は自粛し、公共交通機関等を利用してください。近隣店舗駐車場や周辺路上にて送迎目的での駐停車はしないでください。
- (3) 試験室に入室するまでに、携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、必ず電源を切ってください。
- (4) 試験開始時刻に遅刻した者は受験することができません。あらかじめ経路、所要時間を確認の上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (5) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。
- (6) 受験者の持ち物は、筆記用具(黒又は青のボールペン、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム)、腕時計(計時機能だけのもの)とします。

なお、以下の専修を受験する者は、必ず次の物を持参してください。

・教科教育専攻音楽教育専修

受験生自身が選択した子どもの歌(1曲)の弾き歌い用楽譜

・教科教育専攻美術教育専修

はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、雑巾 ※その他の用具は持参してはいけません。

なお、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、のり付け用の紙、仮とめ用のクリップ、立体製作用の造形紙（B 3 判の両面色違いの造形紙〈厚口 5 枚組〉、B 4 判の両面色違いの造形紙〈薄口 5 枚組〉）は、大学で用意するので不要です。

- ・教科教育専攻保健体育専修
運動靴（室内用と屋外用の 2 足）・運動服 ※スパイクシューズの使用は認めません。
- ・教科教育専攻技術教育専修
汚れてもよい服（体操服など）
- ・教科教育専攻書道教育専修
漢字用半紙・仮名用半紙・漢字用半紙に 4 文字から 6 文字用の筆・仮名用半紙に古筆原寸大
臨書ができる仮名用小筆・墨（墨汁可）・硯・下敷き・文鎮等、書道用具一式

11. 合格者の発表

（1）第 1 次選考

令和元年 11 月 28 日（木）午前 10 時

（2）第 2 次選考

令和 2 年 2 月 10 日（月）午前 10 時

※ 第 1 次選考及び第 2 次選考とも、本学本部棟東側の入学試験掲示板に掲示し、同時に合格者には合格通知書を送付します。

なお、合格発表日に本学ホームページ（<https://www.nara-edu.ac.jp/>）上で合格者受験番号を速報する予定です。この合格速報は、情報提供サービスの一環としてホームページ上に掲載するものであり、正式には学内掲示板又は合格通知で確認してください。

電話などによる照会には一切応じられません。

12. 入学手続等

第 2 次選考の合格者には、合格発表後、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続は、来学のうえ行うことを原則としますが、やむを得ない理由により入学手続日に来学できない場合は、事前に申し出ることにより、郵送にて入学手続を行うことができます。

（1）入学手続日

① 来学による入学手続

令和 2 年 2 月 19 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで受付

② 郵送による入学手続（事前に申し出た者のみ）

令和 2 年 2 月 18 日（火） 必着

（2）納付金

① 入学科 282,000 円（予定額）

② 授業料 前期分 267,900 円【年額 535,800 円】（予定額）

③ 学生教育研究災害傷害保険等 4,010 円

（注）ア．既納の入学科は、いかなる理由があっても返還しません。

イ．前期分の授業料（上記②）については、令和 2 年 4 月 1 日から令和 2 年 4 月 30 日までの間に納入してください。

ウ．上記の入学科及び授業料は、令和元年度入学者の金額であり、令和 2 年度入学者については、変更する場合があります。

エ．在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

オ．保険料（上記③）を納入した者が、令和２年３月３１日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

カ．入学後、専修ごとに、日帰り又は一泊での新入生学生研修の実施が予定されています。

各専修により研修内容が異なるため、研修にかかる費用も異なりますが、宿泊を伴う場合は、**10,000**円程度の費用が必要となることがあります。

（３）事前連絡先等

入学手続き日に本学へ来学することができない場合には、次の期間に入試課へ申し出てください。
なお、事前の連絡がない場合には、入学手続き日、手続き方法の変更は認めません。

① 連絡先

奈良教育大学 入試課 ０７４２－２７－９１２６

② 期 間

令和２年２月１２日（水）から令和２年２月１４日（金）まで

午前９時から午後５時まで

（４）留意事項

① 原則として、アドミッション・オフィス入試合格者は入学を辞退することは認められません。

なお、令和２年２月１９日（水）午後４時までに、入学手続きを完了しないときは、アドミッション・オフィス入試合格者としての権利を消失します。

下記②の入学辞退の手続きを経た場合を除き、出願済みの他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。

② 特別の事情により本学に入学することが困難となった場合には、令和２年２月１９日（水）午後４時までに「アドミッション・オフィス入試辞退願」を提出し、本学学長の許可を得なければなりません。

13. 不合格となった場合の個別学力検査等の受験を希望する者の取扱い

（１）アドミッション・オフィス入試に不合格となった場合に備えて、一般入試において「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。

（２）本学個別学力検査等による選抜を希望する者の出願手続等は、下記のとおりです。

① アドミッション・オフィス入試の合格者の発表は、一般入試の出願期間終了後となりますので、あらかじめ出願手続きを完了しておいてください。

② 出願手続及び出願方法

出願手続は「令和２年度奈良教育大学学生募集要項（一般入試）」（令和元年１１月上旬以降に本学ホームページ上で公表予定）により、改めて行ってください。なお、一般入試についてはインターネット出願となっております。

また、検定料については、再度納入する必要があります。

別表 1

理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等

専攻	専 修 名	理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等
教 育 発 達 専 攻	教育学	教育に関する資料を提示し、そのことについての講義を行い、レポートを課す。そのレポートの内容に基づいて集団面接の形式で質疑応答を行い、教育にかかる理解や関心のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教育学専修を志望した理由についても確認する。
	心理学	子どもの発達・教育に関する課題やテーマを与え、その課題やテーマについてのプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行う。これにより、子どもの発達・教育にかかる理解や関心、課題やテーマを正確に読み取る力のほか、小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	幼年教育	幼児教育・保育に関する講義等を行い、その内容に即した課題についてレポートを課す。その上で、その課題に基づくプレゼンテーション等を課し、乳幼児や幼児教育・保育に関する関心や理解を中心に、講義等の理解力、課題を解決し表現しようとする意欲や能力等、保育者としての資質・能力を総合的に評価する。
	特別支援教育	人間（障害がある場合を含む）の発達と教育に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い（あわせて志望動機についても確認）、人間の発達と教育にかかる理解や関心のほか、特別支援教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
教 科 教 育 専 攻	国語教育	国語に関する文章を読ませ、それをもとに、いくつかの課題を行わせることにより、国語の諸問題への理解や関心、またその発信力、表現力、教科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。試験は個人面接の形式で行う。
	社会科教育	人文、社会等の分野から選んだテーマに関する講義等を行い、レポートを課し、人文、社会等にかかる理解や関心、社会科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	数学教育	数学の問題を課し、白板や模型等を使って解決させ、その解決過程等について個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ（※）、数学にかかる理解や関心のほか、算数・数学科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、算数・数学科の教員になることを目指す理由や、算数・数学についての経験やアピールを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代えて記述式試験で評価することがある。
	理科教育	自然科学におけるものの見方、考え方に関係するテーマに関する講義を行い、レポートを課し、自然科学に関する関心や、科学的な思考力・表現力を身につける意欲、そのほか理科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	音楽教育	小学校音楽科の授業内容に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートについて個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて質疑応答を行い、志望理由書などの内容も踏まえながら、現代の教育実践に対する理解や関心ならびに地域の初等教育への意欲を評価する。実技試験として、子どもの歌の弾き歌いをさせ、音楽を担当する教員としての適性と資質・能力を評価する。 ○加点対象となる公的な資格等 ・生徒会活動（会長、副会長などの生徒会役員に1年以上）、部活動（2年以上） 【持ち物】 受験生自身が選択した子どもの歌（1曲）の弾き歌い用楽譜

専攻	専 修 名	理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等
教 科 教 育 専 攻	美術教育	大学教員が指導者となって授業を行い、その中で、実技（図画工作の授業でも扱われるようなテーマでの紙による立体製作）とレポートを課す。授業の中での、①導入やまとめの時間での授業者と受験生との対話、②実技内容、③実技に関するレポートが評価対象となる。これらを通して、図画工作（美術）における理解力と思考力、技能と表現力を問い、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。 【持ち物】 はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、雑巾 その他の用具は持参しないこと。なお、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、のり付け用の紙、仮とめ用のクリップ、立体製作用の造形紙（B3判の両面色違いの造形紙〈厚口5枚組〉、B4判の両面色違いの造形紙〈薄口5枚組〉）は、大学で用意するので不要。
	保健体育	運動に関する課題やテーマを与え、実技等を行わせることにより、スポーツ文化についての理解や関心、健康教育の重要性の認識のほか、保健体育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。 上記とあわせて、個人面接の形式で志望動機、スポーツ経験（スポーツ・運動歴調書の内容を含む）、保健体育についての興味・関心、抱負等についても評価する。 【持ち物】 運動靴（室内用と屋外用の2足）・運動服 なお、スパイクシューズの使用は認めない。着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示する。
	家庭科教育	家庭科の学習内容に関するテーマを与え、それについて白板等を使って説明等を行わせる。その内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行い、家庭科の知識・理解のほか、小学校で家庭科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。 ○加点対象となる公的な資格等 ・全国高等学校家庭科被服製作技術検定2級以上 ・全国高等学校家庭科食物調理技術検定2級以上 ・全国高等学校家庭科保育技術検定2級以上 （公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会）
	技術教育	ものづくりに関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、その過程等についてプレゼンテーションを行わせ（※）、ものづくりに関する知識や技能のほか、中学校技術科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で中学校技術科の教員になることを目指す理由や、ものづくりに関する経験等を確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代えてレポートを課すことがある。 【持ち物】 汚れてもよい服（体操服など）
	英語教育	英語教育に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートについてプレゼンテーションを行わせる。さらに、プレゼンテーションに基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、英語教育にかかる理解や関心のほか、英語を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教員への適性と意欲を確認する。使用言語は原則的に英語とする。試験での辞書等の使用は認めない。 ○加点対象となる公的な資格等 ・英検1級、英検準1級、英検2級
	書道教育	書道（楷書、行書、かな）に関する課題やテーマを与え、実技等を行い、書道にかかる理解や関心のほか、書道教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で書道教育にかかる熱意及び意欲について確認する。 【持ち物】 漢字用半紙・仮名用半紙・漢字用半紙に4文字から6文字用の筆・仮名用半紙に古筆原寸大臨書ができる仮名用小筆・墨（墨汁可）・硯・下敷き・文鎮等、書道用具一式
	文化遺産教育	文化遺産の材質に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行い、文化遺産にかかる理解や関心のほか、理科ないし美術を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。

別表 2

(1) 留意事項

◎大学入試センター試験の教科・科目一覧表

○外国語

・「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」

○国語

・「国語」

○数学

・「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」

・「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」

○地理歴史・公民

・「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」

「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」

○理科

・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」

・「物理」「化学」「生物」「地学」

1. 外国語については、全専修必須とする。
2. 外国語のうち「英語」を選択した場合、【筆記】のほか、【リスニング】の成績も用いる。
その場合、【筆記】（200点満点）と【リスニング】（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。
なお、【リスニング】免除者については、【筆記】（200点満点）のみを用いる。
3. 数学、地理歴史・公民、理科（基礎を付していない科目）について2科目受験した場合、高得点の科目の成績を優先して用いる。
4. 理科（基礎を付している科目）については、2科目受験を1科目受験として扱う。
5. 理科（基礎を付している科目）2科目及び理科（基礎を付していない科目）1科目を受験している場合、どちらか高得点の科目の成績を優先して用いる。
6. 理科において、理科（基礎を付している科目）から2科目、理科（基礎を付していない科目）から1科目を選択する場合、同一名称を含む科目を選択することも可とする。

例：理科（基礎を付している科目）→物理基礎、化学基礎

理科（基礎を付していない科目） 化学

(2) 大学入試センター試験 受験科目指定一覧

専修名	大学入試センター試験 受験科目指定一覧
教育学	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③数学から1科目 (100点) ④数学 (③以外の科目)、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の1科目 (100点) 合計600点
心理学	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③数学から1科目 (100点) ④地理歴史・公民から1科目 (100点) 合計600点
幼年教育	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③数学から2科目 (200点) 合計600点
特別支援教育	①外国語から1科目 (200点) ②下記の i. ii. のいずれかのうち、高得点のもの (400点) i. 「国語」に加えて、数学、地理歴史・公民、理科のうち高得点の2科目 ii. 数学、地理歴史・公民、理科のうち高得点の4科目 合計600点
国語教育	①外国語から1科目 (200点) ②「国語」 (200点) ③数学、地理歴史・公民、理科から高得点の2科目 (200点) 合計 600 点
社会科教育	①外国語から1科目 (200点) ②地理歴史・公民から2科目 (200点) ③下記の i. から iv. のうち、最も高得点のもの (200点) i. 「国語」 ii. 数学から2科目 iii. 理科から2科目 iv. 数学から1科目及び理科から1科目 合計600点

数学教育	①外国語から1科目（200点） ②「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」（200点） ③下記の i. から iv. のうち、最も高得点のもの（200点） i. 「国語」 ii. 地理歴史・公民から2科目 iii. 理科から2科目 iv. 地理歴史・公民から1科目及び理科から1科目 合計600点
理科教育	○以下の（1）又は（2）のいずれかのうち、高得点のもの （1） ①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③理科から1科目（100点） ④地理歴史・公民、数学、理科（③以外の科目）のうち、最も高得点の1科目（100点） （2） ①外国語から1科目（200点） ②理科から2科目（200点） ③数学から2科目、又は地理歴史・公民から2科目のうち、いずれか高得点のもの（200点） （1）（2）いずれも合計 600 点
音楽教育	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目（100点） 合計 500 点
美術教育	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目（100点） ④数学（「数学Ⅰ」及び「数学Ⅰ・数学A」以外の科目）、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の1科目（100点） 合計 600 点
保健体育	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目（100点） 合計 500 点
家庭科教育	①外国語から1科目（200点） ②地理歴史・公民から1科目（100点） ③理科から1科目（100点） ④地理歴史・公民又は理科のうち、上記②③の次に高得点の1科目（100点） 合計 500 点

技術教育	①外国語から1科目（200点） ②「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目（100点） ③数学から「数学Ⅰ」及び「数学Ⅰ・数学A」以外の1科目（100点） ④理科（基礎を付していない科目）から1科目、 又は理科（基礎を付している科目）から2科目（100点） 合計 500 点
英語教育	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③「数学Ⅰ」又は「数学Ⅰ・数学A」から1科目（100点） ④「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」から1科目（100点） 合計 600 点
書道教育	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の1科目（100点） 合計500点
文化遺産教育	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科のうち、高得点の2科目（200点） 合計 600 点

Ⅵ. 障害を有する入学志願者との事前相談

本学を受験しようとする障害を有する入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は事前に相談してください。

1. 相談の期日

令和元年9月13日（金）まで

2. 相談の方法

次の事項を記載した相談書類（様式任意）に医師の診断書を添付して提出してください。

- （1）氏名及び出身学校名
- （2）障害の種類、程度
- （3）志望専修・履修分野名
- （4）受験上の特別な措置を希望する事項
- （5）修学上の特別な配慮を希望する事項
- （6）出身学校でとられていた特別措置等の事項
- （7）日常生活の状況
- （8）連絡先（住所、電話番号等）

3. 提出先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

Ⅶ. 留意事項等

（1）本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票は、入学手続等に必要ですので、紛失、汚損等のないように大切に保管しておいてください。

（2）連絡事項があれば、大学のホームページに掲載します。

（3）本学から受験のための宿泊施設等のあつせんは行いません。

（4）本募集要項に関して不明な点がある場合には、入試課へお問い合わせください。

（5）学生募集要項（一般入試）について

大学ホームページの入試情報ページで、11月上旬から公表予定です。

一般入試（前期日程・後期日程）は、インターネットによる出願となり、冊子による募集要項の配布はしませんので注意してください。ただし、事情によりインターネットによる出願ができない場合は、入試課まで相談してください。

（6）個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用すること又は第三者に提供することはありません。

- ① 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。なお、氏名及び大学入試センターの受験番号に限っては、国公立大学における合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
- ② 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- ③ 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。

④ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。

⑤ その他本法人の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL <https://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

Ⅷ. 出願書類記入上の注意

1. 共通事項

- (1) 所要事項をもれなく正確に記入してください。不備のある場合は、受理しません。
- (2) 記載した事項については、受付後の変更は認めません。
- (3) 「入学志願者カード」以外の書類は、黒色ボールペンで丁寧に記入してください。
「入学志願者カード」は HB のシャープペンシル (0.5 ミリ芯) で丁寧に記入してください。
- (4) ※印欄は、記入しないでください。

2. 「入学志願票」

- (1) 「性別」の欄は、該当する文字を○で囲んでください。
- (2) 「連絡先」の欄は、大学側が出願書類の照会や連絡をとる場合、速やかに本人に伝達できる電話番号及び住所を記入してください。携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話の番号も記入してください。
出願後、連絡先を変更した場合は、入試課に届け出てください。
- (3) 「保護者氏名」の欄は、保護者の氏名を記入してください。「保護者連絡先」の欄は、出願者本人と住所・電話番号が異なる場合のみ、保護者の住所・電話番号を記入してください。
- (4) 「出願資格」の欄は、出身学校名等の必要事項を記入してください。その他の出願資格の欄は、上記の資格を有しない場合、文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設等、出願資格に該当する具体的な内容を記入してください。
高等学校等コード番号の欄は、「令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の高等学校等コード表を参照してください。
- (5) 「志望する専攻・専修・履修分野」の欄は、2ページの「Ⅱ. 募集人員等」の表により、志望する専攻・専修・履修分野に○印を付けてください。
- (6) 「令和2年度大学入試センター試験受験科目」の欄は、受験予定の教科・科目全てに○印を付けてください。

3. 「受験票」・「写真票」

- (1) 「性別」の欄は、該当する文字を○で囲んでください。
- (2) 「志望専攻・専修・履修分野」の欄は、入学志願票と同一のものを記入してください。
- (3) 「受験票」の裏面には、353 円分の郵便切手を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- (4) 「写真票」には、出願前3か月以内に撮影した縦 4cm×横 3cm の上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。

4. 「検定料納付確認票」

「検定料納付確認票」貼付欄には、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料を納付したときに受け取る「振替払込受付証明書（大学提出用）」を貼付してください。(ATM（現金自動預け払い機）では、「振替払込受付証明書（大学提出用）」が発行されません。必ず、窓口で納付してください。)

5. 「令和2年度大学入試センター試験成績請求票貼付票」

「大学入試センター試験成績請求票」貼付欄には、大学入試センターから送付された「令和2年度大学入試センター試験成績請求票（国公立AO入試用）」を全面糊付けし、入学志願者カードとともに提出用封筒により提出してください。

6. 「宛名票」

「宛名票」は、出願者の氏名、郵便番号、住所を4箇所記入してください。

7. 「奈良教育大学入学志願者カード」

氏 名	
本 学 受 験 番 号	
※本学受験票の受験番号を記入して下さい。	
大学入試センター試験試験場コード	
大学入試センター試験受験番号	
発 行 回 数	
専 攻 ・ 専 修 ・ 履 修 分 野 コード	

記入例

標準文字	注意箇所	書 き 方 の 注 意
0	0	丸く閉じ、縦長にバランス良く。
1	1	縦線に垂直に、頭部の角はつけない。
2	2	頭部は丸みをつけ、下線は水平に。
3	3	上下部に丸みをもち、中央部の横線を水平に、左端をそろえる。
4	4	2本の縦線は平行で上は閉じない。交差の右及び下に十分突き抜ける。

標準文字	注意箇所	書 き 方 の 注 意
5	5	縦線は上に突き出す。中央部の横線は上の横線と水平に、下部は丸く。
6	6	丸は下半分の大きさ、左の斜線に突き出さない。
7	7	左上の角は短くはっきりとつけ、縦線は内側にふくらむ曲線。
8	8	線を連続させて、仕上げはバランス良く丸める。
9	9	上部の丸ははっきりさせて右の直線は斜めにする。

志願者カード記入上の注意

- (1) 記入については、HBのシャープペンシル（0.5^{mm}芯）で正確に記入してください。
- (2) 一度このページで下書きをしてから、提出用志願者カードに記入してください。
- (3) この志願者カードはコンピュータで処理しますので、数字等の記入は記入例のとおり枠内に正確に記入し、汚したり、しわにしたり、折りまげたりは絶対にしないでください。
- (4) 枠内は、絶対に汚さないでください。
- (5) 誤って記入したものは、プラスチック消しゴムによりきれいに消してください。
- (6) 専攻・専修・履修分野コード番号については、21ページの「専攻・専修・履修分野コード表」を参照してください。

〔氏 名〕
志願票に記入したとおり署名してください。

〔本学受験番号〕
受験票に記載されている受験番号を記入してください。

〔大学入試センター試験試験場コード〕
大学入試センター発行の成績請求票に記載されている試験場コードを記入してください。

〔大学入試センター試験受験番号〕
大学入試センター発行の成績請求票に記載されている受験番号を記入してください。

〔発行回数〕
大学入試センター発行の成績請求票に記載されている発行回数を記入してください。

〔専攻・専修・履修分野コード〕
志望する専攻・専修・履修分野を21ページの「専攻・専修・履修分野コード表」により記入してください。

【大学入試センター試験成績請求票】

A O

令和2センター試験成績請求票

国 公 立 A O 入 試 用

センター試験
試験場コード

200011 - 1001X - 1
(ナキョウ タロウ)
奈 教 太 郎

発行回数

センター試験受験番号

標準文字	注意箇所	書 き 方 の 注 意
A		ループははっきり、突き出さない。
B		上下の突出し。
C		上下部を丸くあるいは水平に上右端に角をつける。
H		水平線は真中にはっきり。
K		交差は一つに。
M		下方向の開放をはっきり二つ。

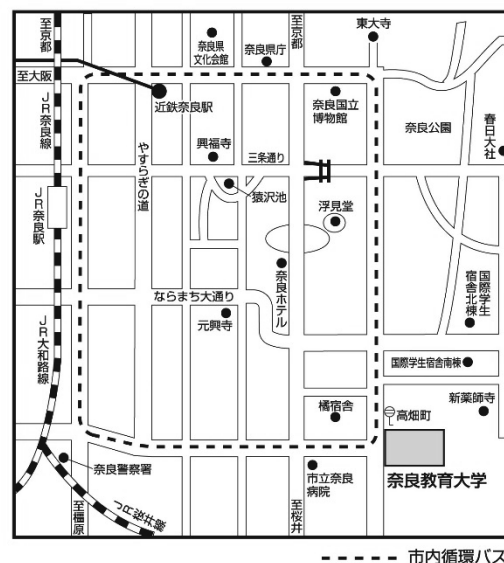
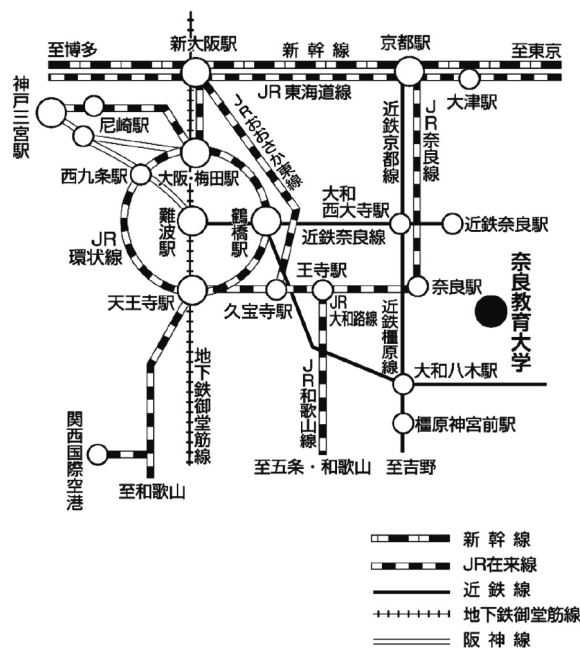
標準文字	注意箇所	書 き 方 の 注 意
R		右方向に開放を。
U		上部は十分にあげる。
X		左上から右下の斜線は十分にはっきりと。
Y		上方向の開放をはっきり、交差を中央に。
Z		中央に長い横線を、また、右方向、左方向に開放を二つ。

Ⅸ. コード表

〔専攻・専修・履修分野コード表〕

	専攻・専修・履修分野		コード番号
アドミッ ション・ オフィス 入試	教育発達専攻	教育学専修	1 1
		心理学専修	1 2
		幼年教育専修	1 3
		特別支援教育専修	1 4
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野 2 1
			中等教育履修分野 2 2
		社会科教育専修	初等教育履修分野 2 3
			中等教育履修分野 2 4
		数学教育専修	初等教育履修分野 2 5
			中等教育履修分野 2 6
		理科教育専修	初等教育履修分野 2 7
			中等教育履修分野 2 8
		音楽教育専修	初等教育履修分野 2 9
		美術教育専修	初等教育履修分野 3 1
		保健体育専修	初等教育履修分野 3 3
			中等教育履修分野 3 4
		家庭科教育専修	初等教育履修分野 3 5
		技術教育専修	中等教育履修分野 3 7
		英語教育専修	中等教育履修分野 3 8
	伝統文化教育専攻	書道教育専修	3 9
		文化遺産教育専修	4 0

試験場への順路



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

J R東海道本線で大阪駅へ、J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

J R大和路快速で、J R奈良駅まで約30分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ
J R大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学 入試課

☎ 0742-27-9126

FAX 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp